

平成 14 年度

第 18 回 浦和少年剣道大会 試合報告

と き 平成14年6月16日(日)
と ころ 浦和駒場体育館



主 催
後 援

浦和剣道連盟
さいたま市
さいたま市教育委員会
財さいたま市剣道協会
財埼玉県剣道連盟

試合報告が大変遅れてしまいましたこと、ここにお詫び申し上げます。

新役員になって初めての大会参加。少しずつではありますが船出をしてきたかなと感じる大会でした。すべて、ご父兄のご協力によるものと感謝いたしております。会場係・監督・学年担当係・場所確保。なにからなにまで…今後とも宜しくお願いします。

よろしく、お引き立て下さいますよう伏してお願い申し上げます。また、会報作成お手伝いいただける方、手を挙げて～！一緒にやりませんか？おねがいしま～す。

駒場剣友会後援会

星野

第18回浦和少年剣道大会
2002・6月16日
駒場剣友会Aチーム結果

第2コート第5試合	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
西浦和公民館	武	奥	坂	松	清	奥	田	勝数
	田	島	田	本	水	島	中	本数
	不戦勝	引	ド ド		メ		メ ド	$\frac{3}{5}$
駒場剣友会 A		分		コ	メ メ	メ		$\frac{3}{4}$
	奥 山い	中 桐	坂 下	西	千 葉	宮 地	羽 鳥	

本数差により西浦和公民館の勝ち。

中桐君・坂下君→試合前は二人とも元気いっぱいでしたが、いざ試合となるとやはり少し緊張してしまった様です。しかし、ひたすら前に、無心で一生涯懸命戦いました。

西君→ 打ち勝ってやろうという気持ちは十分に伝わってきましたが、全ての打突が一本打ち。連続技が1つもありませんでした。

千葉君→試合前一番緊張していましたが、さすがにここ一番という時の度胸はすばらしい。思い切って、体全体で攻め勝ちました。

宮地君→かなり慎重に戦っていましたが。団体戦で1つの勝ちも落とせない状況だったので仕方のないことですが、普段のかかり稽古で見せる、全てをさらけ出してのがむしろ攻撃も見えなかったです。

羽鳥君→全ての責任を背負っての大將戦。ケガをおしての戦いという事もある、とても緊張した事でしょう。後から振り返ると、打突にも硬さが見られたかな？しかし、力一杯攻めました。立派でした。悔いも残るかも知れませんが、必ず次につながります。

第18回浦和少年剣道大会
2002・6月16日
駒場剣友会Bチーム結果

第1コート第6試合	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
一心館 B	吉田	松田	大松	大松	細倉	富谷	儀尾	勝数 ・一・ 本数
	引	メ メ	不戦勝	メ メ	ド	コ メ	コ	6 5
駒場剣友会 B	分							0 0
	吉野	池田		木村	渡邊	神田隼	奥山	

吉野君・池田君→個人戦にて力を使い果たしてしまったかな？ 初めての大会参加とは思えないほど、試合の態度は良かったです。次回はもう少し集中力をもってもうひとつ上をめざしましょう。「はやく帰りたい」はダメだよ！

木村さん→ 不戦勝の流れを断ち切ろうという気持ちは十分に伝わってきました。相面での勝負。一步も引かず素敵でした。一足一刀の間合いでの勝負（気合）をもっと出せるようにしたら。

渡邊君→早く試合がしたいという自信は素晴らしい。意気込みも充実。練習の技と気迫が全て出ていました。試合内容は勝っていました。攻めの気持ちが最後まで出せるのが本当に良かった。団体戦でのチームに与える影響は優良です。

神田隼君→かなり緊張していました。練習で教えていただいた技は一番出せたね。面返し。追いかけて面。2本連続打ちもありました。初めての団体戦。声も出ていたし、構えて下がらない姿勢は立派。体力がついてきてしっかりとした打ち込みが出来ていました。今後が楽しみ！

奥山君→気迫充分。大将としての責任感あふれる試合でしたよ。緊張したことでしょう。「負けない！」「1本取るんだ！」の気持ちの入った連続技。つば競り合いからの引き技。本当に良く動いていました。大将としてチームをしっかりと指導していました。ありがとう。感激した。先輩としての役割大変でした。出小手なんか気にしない！攻めて攻めて行くOKでした。

個人戦5年生

芦村君→基本通りの一直線な攻め。メン一本勝ち、見事1回戦突破しました。

神田君→「はじめ。」と同時にいつも通りに面に飛び込みました。常に前に出る事を心がけていました。メン一本勝ち、一回戦突破です。

三原君→一生懸命に前に出ようとする気持ちは伝わって来ましたが、なかなか自分から前に出られず、どうしても返し胴にこだわってしまう所があります。メンを一本取られてしまいました。

星野君→「はじめ。」と同時にとても大きな声で気合いを入れましたが、「さあ行くぞ」という時に出鼻メンを2本決められてしまいました。右足から一步前に出ながら気合いを入れるようにすると良いかも…

個人戦4年生

奥山いさん→背の高い相手、先に面返し胴を取られ、すぐに同じ技で胴を返しました。振り向きざまに面を決められました。気合の入った良い試合でした。

坂下弟君→初めての大会で上がっていました。はじめ声が出ていませんでしたが、体当たりからの引き面を3本も打てました。そのころから気合も入り始め、相面もしっかり打っていました。

中桐君→飛び込んだ思い切りの良い面。面返し胴。引き小手とても元気よくできました。面・面で一回戦突破！うれしい一勝でした。おめでとう。

吉野君→つば競り合いの後の引き面が決まる。小手もたくさん打てました。打つときに足が上に上がるくせを注意して。その後も引き面で一回戦突破。2回戦新田道場の子に善戦。丸山先生の言う大砲の面を打てるようにしようね。初めて打った胴に面を打ち込まれた。初めての大会で2回戦進出すばらしい。

池田君→連続。息もつかせぬ面打ち。面の数は一番。引き面。追いかけて面。一回戦突破。2回戦も下がらずに飛び込み面。相面。がんばりました。面と場外反則1回とられました。初参加！初勝利本当におめでとう。試合後の態度も良かったですよ。

野口君→今まで勝てないと本人が悩んでいたようですが？今日はシードの2回戦からの出場。よく気合が入り練習通りの面うち。相手を追いかけていったの面。引き技もとても切れ味鋭く。今大会最高の4回戦進出を果たしました。自信がついた野口くん。これからも精進しよう。最高学年のアンカーマンとして期待してます。

古谷君→いつもより大変落ち着いて試合運びができました。相手を良く見て、しっかりとした1本を打ち込んでいました。大本さん感動したそうです。最近筋力もついてきたのかな？打ちが鋭くなりました。練習をしているといつのまにか強くなっているんです。

本荘君→勝とう・勝とうが前に出すぎて打たれてしまった。先生方の「さあ！どっからでもこい」こんな気構えが良いのかも。気合とは「勝とう」とすることとじゃなく、全部を出し切ること。まだまだ、本荘君の力はこんなもんじゃない！面打ちはとても早くて正確でした。

坂下君→優勝した新田の野中君相手に、ひるまず、いつもの坂下君の打ち込みができました。面のスピードが相手の方がチョット速かったです。練習でがんばって！気合は充分でした。「さあ！いくぞ！」という気持ちはすごかったです。練習以上に声が出ていましたよ。精進しよう。試合態度、後輩達への心配りは素晴らしいものがありました。感謝している後輩がたくさんいますよ。やさしい坂下兄やんがんばろう。

今大会は、盛年部の大本さんにお手伝いいただき、子供たちを指導していただきました。男性とは違った、子供たちへの細やかな対応。試合前の子供たちへのアドバイスも「大きな声を出して元気よく」を徹底して教えてくれました。試合での気持ちの高め方は見ていて楽しくなりました。子供たちの返事も大きくなってきていました。本当にありがとうございました。急遽のもう仕入れに対してこころよく引き受けていただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

大本さん談「私も駒場剣友会に育てていただきました。子供たちの成長が何より嬉しい。今日は、感動でなんともうるうるしちゃいました。」

PMより、今回の団体戦が始まる前に奥山いちゃんが言った一言「早く終わらないかな〜。」駒剣の出番までにはまだ5試合もあります。しかも7人制で…。奥山いちゃんは、少し気分が優れないとの事でした。一人で先に面を着けようと述べていました。それだけ、始まる迄の待ち時間が長く、早く緊張の時間から解き放ってもらいたかったのだと思います。他の子供達にも予想以上の負担がかかってしまいました。特に6年生達は試合を気にしながら皆一生懸命低学年の子の面倒を見てくれていました。そんな中で対戦順の変更等もあってますます心理的に負担がかかってしまった事でしょう。

そして、やっとの事で駒剣Aチームが整列する場面。皆面を持って移動する時、奥山いちゃんは面の中で泣いていました。「お腹が痛いの？」と尋ねると「ウン。」面の中でうなずきました。…よほど卒かっただけなのでしょう。

6年生は個人戦に出場していないので、朝少しだけ体を動かしただけの状態で試合に臨む事になります。又直前のアクシデントで、各個人にかかるプレッシャーは私達には計り知れないものがあったはずです。特に、個人戦とは違い、1人がチームの為・皆の為に戦う団体戦では高学年になればなる程、責任を重く感じていたと思います。しかし、皆そのプレッシャーの中でよく頑張ってくれました。1人〃が次ぎへ〃と希望をつなげ正々堂々戦ってくれました。最終的には、惜しくも本数差で負けてしまいました。羽鳥君をなくさめる千葉君の姿。そして先にも書きましたが、一生懸命下の学年の子の面倒を見る6年生の姿には、試合とは違った面で彼らの成長を見ることが出来ました。

【 西先生 談 】

試合後の西さんとの話の中で、子供たちの緊張感。をいかに和らげて、集中力を高め持続させてやるのが、監督の難しさ。この辺はまだまだ勉強の余地がありそうです。当日は、午前中に個人戦があり、低学年は人数の関係で個人戦・団体戦。両方に出場する選手が多く、昼食のとり方、等これから学んでいこうと考えております。

このたびの大会で良かった点は、会場係りのお母様たち。本部からもほめていただきました。早く正確に！が本当に流れるようにできていました。朝の場所確保も優良。観客席でのご父兄もとても協力的でした。本当にありがとうございました。盛年部の方たちも監督・会場係と助けていただきました。ここに御礼申し上げます。